



相手を大事にすること



6月のキーワードは、「尊重」です。
尊重するとは、相手を大事にするということです。

1人1人の生命や自由・平等が保障され、だれもが自分らしく幸せに生きることを追求し、実現するために「人権」があります。

人権＝Human Rights（ヒューマンライツ）

縁があって柳沢中学校で一緒に生活することになった286人の生徒と教職員約50人の社会。世界に比べたら、とても小さいけれど、柳沢中学校という社会で、いろいろな人がいます。

「同じ人」はいません。それぞれに個性があります。いろいろな個性を大事に尊重してあげてください。「わがまま」や「自分勝手」は個性とは違います。ただの迷惑な人になります。

どの人も大切に尊重され、大事にされなければいけません。この人なら大丈夫だろう。ちょっとだけならいい。嫌がってないからいい。笑っているからいいだろうというのは、絶対にだめです。相手によって態度を変えることも許されません。どの人も平等に接しなければいけないのです。「嫌だから、やめて。」と言えない人もいます。

自分がされて嫌なことは、絶対に他の人にはしてはいけません。

そして、完璧な人はいません。誰にでも得意なことで苦手なことがあります。失敗してもいいのです。失敗した人を責めたり、悪口を言ったりしてはいけません。人によって成長のスピードが違いますので、いつまでたっても精神年齢が低い人もいるかもしれません。自分をコントロールできない人もいます。自分に自信がもてなくて、元気が出せない人もたくさんいます。だからこそ、お互いのいいところを認めて、支え合って、みんなが居心地いい空間をつくっていきましょう。

例えば、相手を尊重するとは、相手の話に耳を傾けること。感じ方の違いを受け入れること。相手の考えを尋ねること。相手の意向（考え、思い）を確認すること。相手の良いところを認めること。相手の意見を取り入れること。相手がしてくれたことに対して感謝の気持ちを表す行動は、相手の力の欲求に配慮した関わりです。それは、心理学の観点でいうと、相手と尊重する言動になります。力の欲求とは、成果を上げたい、達成したい、人に認められたいという欲求のことです。

誰もが力の欲求をもっています。力の欲求に配慮し、相手を尊重するように心掛ければ、スムーズで円滑な人間関係を手にすることが出来るでしょう。

あいさつは、人とつながる魔法の言葉
あいさつされると気持ちいいです。



夢を叶えるために

今年度は、中学校の教員になるために3名が教育実習に取り組んでいます。多くの職業の中から、「教師」という職業を選択し、大学で学んできた専門知識を実際に中学校現場で生かし、経験を積んでいるわけです。中学生にとっても身近な人として、相談したり、質問したりしてみましょう。



教育実習生の思い

身近な人が小学校の先生になったことがきっかけで教員という職業に興味をもつようになった。

教師という教育のブルフェッショナルとして、質の高い教育を提供する努力を常に忘れないようにしたい。

自分がきっかけで、プラスの影響を与えられる存在になりたい。常にアップデートを続けて新しいことを吸収していきたい。



美術部が作成したスローガンの看板

運動会で見た景色

運動会予行練習は、4日に予定されていましたが、前日準備の火曜日は、天気予報が芳しくなく、5日に延期して実施しました。そして、本番は快晴。30度を超える暑さとなり、熱中症予防対策が大変でしたね。みんなでつくりあげた第54回運動会、達成感、充実感、やり切った感を手に入れることができましたか？

3年生の力強さ、2年生の成長ぶり、1年生の頑張りを改めて感じることができ、嬉しかったです。一生懸命の青春まっさかりの輝いた笑顔をたくさん見ることができ、感動をたくさんもらいました。

人は、一生懸命に頑張っている姿に感動し、応援したくなるものです。会場の保護者や地域の方々には、皆さんの一生懸命な姿から、改めて一生懸命は美しいものだと思います。

全体的には、

実行委員を中心に、委員会や係の仕事ぶりは、よく動いて気持ちの良いもので感心しました。全校や学年学年種目や全員リレーでは、どうやらうまいく、みんなで練った作戦はうまくいきましたか？こういった集団の力をつけるいい機会であったこと、新たな学びができたらいいいですね。

1人1人、自分のかかわり方はどうでしたか？

積極的にかかわれたか、自分なりに頑張れたか。自分が変わるかどうか、楽しめるか楽しめないかは、自分次第です。寄り添う気持ちをもつことが学べたらいいと思います。悔しかった、嬉しかった、楽しかった、悲しかった、いろいろな感情を感じることができたら、心を入れて、一生懸命にとりくんだ証（あかし）です。

頑張った自分に、実行委員に係の人たちにクラスの人たちに先生たちに地域の皆さまに感謝の気持ちをこめて、「よく頑張ったね、ありがとう、お疲れ様」で閉会できてよかったです。

ご協力いただきました運動会事後アンケートは、来年度の開催に向けて、参考にさせていただきたく存じます。ありがとうございました。

薬物乱用防止教室

副校長 小西貴也

学校薬剤師の宮川昌和先生による薬物乱用防止教室を開催しました。アルコールやたばこ、薬物について映像を見ながら必要な知識を学びました。

特に薬物については、好奇心や断り切れなくて手を染めてしまう可能性が高いものですが、1回でも手を出すと取り返しのつかないことになります。自らの健康に目を向けて、将来を考えながら、現在の身体に向き合う能力を身に付けることができたのではないのでしょうか。一生付き合っていく自分の健康を自分で作っていくことの大切さを忘れないでいきたいですね。



小・中連携の取組

保谷第二小学校の先生方と連携研修会を行いました。5時間目の授業を参観させていただいた後に学力向上や生活指導などを主なテーマとして、分科会に分かれて研修会を行いました。

学力向上分科会では、現在の中学校2、3年生は、小学校時代、市民科の授業で税の使い道について提言した学年であることを共有しました。また、タブレット端末の扱いについて、小学校の時に使用しているため中学校でもスムーズに使用できており、引き続きICT機器の活用について共通認識を深めました。

生活指導分科会では、コミュニケーションがうまくとれずにトラブルにつながるケースが小学校、中学校共に多いことが分かり、様々な場面でのコミュニケーション能力を育成させる手だてを協議しました。

小学校、中学校で連携した研修会を行うことで、学びの連続性が確保でき、9年間を通した柳沢地域のよさを生かした教育の充実を図ることができます。

2学期には小学校の先生方が中学校の授業を参観する予定です。成長した姿を見せられるといいですね。

